



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

人権教育強調月間

10月31日より11月30日まで、後期の人権教育強調月間でした。全校で人権に関わる学習を通して、人権感覚を育て磨いていく取り組みをしてきました。人権感覚は、日常の生活の中で一人ひとりの心の中に磨き育てていくものだと思います。しかし、そのためには正しい知識と認識を得て、自らの行動を振り返ったり考えたりすることが必要です。月間を通して、人権は「人は一人ひとりがかかけあえない、尊いものである」ことを学び、積極的に行動ができる西中生でありたいとの願いを強くしました。

いじめ防止子どもサミットNAGANO

11月26日(土)に、塩尻市にある長野県総合教育センターにおいて「いじめ防止子どもサミットNAGANO」が開催されました。本校より生徒会正副会長の川端太智さん、大平智也さん、石井七海さんが、更埴地区代表として参加をしてきました。参加をしての感想を紹介します。

- * 他校の生徒会活動でのいじめ防止に対する取り組みが沢山あり、学ぶことが多かった。自分の任期は満了してしまうので、後輩にしっかりと引き継ぎます。〇〇中●●宣言というのが多くあり、我が校にはないので興味深かった。<川端さん>
- * 県内各地の小中学校の代表の人たちより色々な発表があった。その中で、自分の学校でやっていないことなども多くあり、学ぶことが多かった。<大平さん>
- * ネットいじめについて深く考えたことがなかったので、色々な意見をもった人が扱って話し合いをするのは思った以上に楽しく、勉強になりました。実行委員としてグループ内で意見をまとめるのに苦労したが、最終的にうまくできて全員賛成してくれた時は達成感がありました。ディスカッションとても良かったです。<石井さん>

読書旬間

懇談会の時期に合わせて、12月6日より16日まで「読書旬間」が行われています。今回のテーマは『図書館の本から自分の世界を広げよう～生誕120年 宮澤賢治の世界にもう一度ふれてみよう～』です。今回も、地域の方による読み聞かせボランティアの方々が来校くださり、1年「どんぐりとやまねこ」2年「よだかのほし」3年「オツベルと象」の読み聞かせがありました。どの学級からも、宮澤賢治の世界に入り込んでじっと耳を傾ける姿が見られました。



「オツベルと象」に聞き入る3年生

新体育館竣工を祝う全校集会

前号でもお伝えしましたが、体育館の使用を前に全校集会を行いました。学校長からは、「最新の設備、バスケ、バレー、ハンドボールで正規のコートを取れる広い面積の素晴らしい体育館ができました。しかし、本当にこの体育館を素晴らしい体育館にするのは皆さんの力です。」とのお話がありました。生徒代表の川端生徒会長からは、



立派なステージを使っの初の集会



初めてのシュートを決めるのは誰だ

「素晴らしい体育館ができてうれしい。完成を待ち望んでいた。また、この体育館で卒業式を迎える初めての卒業生になることが誇らしいとともに、長く使うことができる後輩の皆さんがうらやましい。完成したばかりの新しい体育館を使える恵まれた私たちであることを忘れず、感謝の気持ちをもって大切に使いしていきたい。」とのあいさつがありました。

集会の後は、竣工イベントとして初めてバスケットゴールにシュートを決める「メモリアルゴールを決めろ！」を行い、さっそく体育館中に全校生徒の歓声が響き渡りました。



新体育館で汗を流す部活動

今年度生徒会が築いてきたもの ～教頭のつぶやき～

体育館の使用ができるようになり、体育館や校舎に砂を持ち込まず、生徒の体育館への移動も容易になるようにと人工芝を購入させていただきました。早速、通路づくりを始めましたが、30cm角のユニットをつないでいくのは大変な作業でした。作業をしていると、授業教室の移動で通りかかった3年生から「お疲れ様です」「ありがとうございます」という声をたくさんかけていただきました。次の日には、「お手伝いします」と6人の生徒会役員が駆けつけてくれました。7人で作業を始めていると、他の役員の皆さんが合流してくれ、さらには、下校しようとしていた3年生が続々と集まってきて大人数での作業となりました。要領をつかむと、自分たちでどんどんと手を進め、上履きで歩ける通路を完成させてくれました。その間、1時間30分。懇談会の午後を利用して5日間で作ろうと考えていたものですから、頼もしい3年生に感謝です。

「自分たちの生活を自分たちでつくれる生徒会」は、日ごろ学校長が口にする西中の自慢です。3年生の姿から、改めて今年度の生徒会が築いてきたものの大きさを実感しました。



始めは・・・



気が付くとボランティアの集団

飲酒運転撲滅への取り組みを宣言します

10月29日、11月12日に長野県の教員2人が飲酒運転により取り調べを受けたり、逮捕されたりする事案が発生しました。今年度、長野県内で教職員による不祥事が相次いで起きており、教育に対する信頼を大きく損なっている現状には胸の痛む思いです。本校では、「更埴西中学校から非違行為を出さない」の誓いをもって、生徒・保護者・地域の皆様からの期待と信頼に応えられる学校づくりを目指して、非違行為の根絶に向けての非違行為防止研修に継続的に取り組んでまいりました。

飲酒運転撲滅に対する強い社会的要請がある中で、飲酒運転は社会人として当然許されないことであり、特に地域社会の一員である学校の教職員としてあってはならない不祥事であると受け止めています。更埴西中学校では、12月8日に飲酒運転に係る非違行為防止研修を行い、今まで以上に飲酒運転を撲滅するための取り組みを進めていくことを確認し合いました。生徒・保護者・地域の皆様の教育に対する信頼を取り戻すべく、改めて飲酒運転撲滅に向けての取り組みを宣言いたします。

(文責：教頭 畑)

私たちは、教育公務員としての身分とその使命を自覚し、交通道德においても常に地域社会及び生徒の模範となるように心がけるとともに、交通事故の悲惨さ、そして飲酒運転の危険性を深く認識し、自他の生命の尊重と安全で安心して暮らせる交通社会を確立する為に次の事を宣言します。

- 1 飲酒・酒気帯びでの運転は絶対にしない。
- 2 飲酒を伴う会合は「飲酒会合届」を提出して行う。(帰宅方法については、公共交通機関を利用するなど飲酒・酒気帯び運転につながらない計画を示し、実行する。)
- 3 翌朝に車を運転する必要がある場合の飲酒は、節度をわきまえる。
- 4 お互いに声をかけ合って交通ルールを遵守し、安全運転を行う。

更埴西中学校職員一同